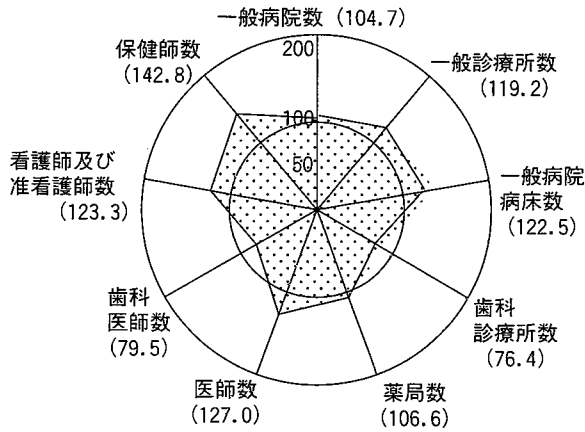


全国を100とした場合の鳥取県の医療体制

総務省統計局「統計でみる県のすがた2004」のデータより



(健康・医療)

本県の医療水準は、人口10万人当たりで見ると、医師数、保健師数などで全国水準を上回っています。

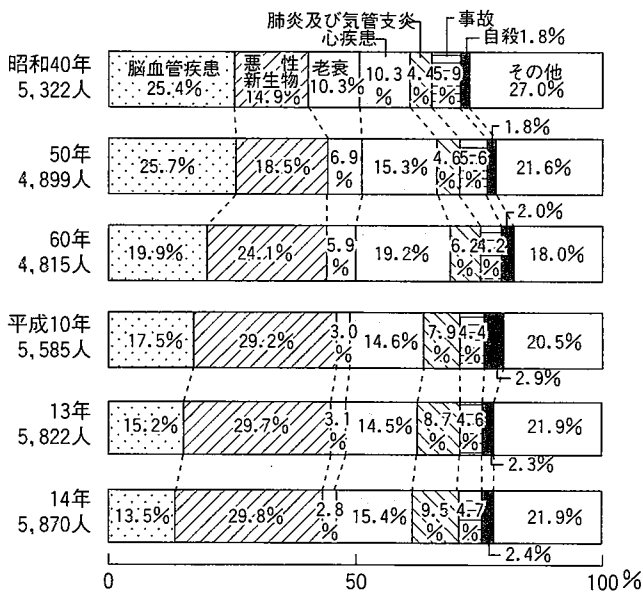
平成14年中の死亡数は5,870人で前年に比べ48人増加しています。内訳は、三大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）で、全体の58.5%を占めています。

また、三大死因別死亡数の推移を見ると、悪性新生物は1,751人、心疾患は906人、脳血管疾患は790人となり、合計で18人の減少になりました。

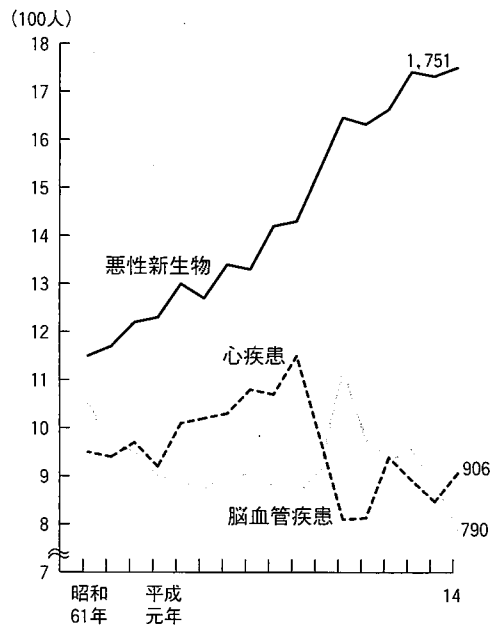
指標名	鳥取県	順位	全国	年次
平均寿命(男)	77.39歳	31	77.71	12
平均寿命(女)	84.91歳	16	84.62	12
医師数(人口10万人当たり)	249.2人	5	195.8	14
保健師数()	45.9人	10	30.1	14

死因別死亡数の割合

県福祉保健課



三大死因別死亡数の推移



医療施設等の状況

単位：施設、床、所、人

年次	病院数	診療所	病床数		歯科診療所	薬局	医師	歯科医師	看護師及び准看護師	保健師
			病院	診療所						
平成10年度	44	508	8,773	1,627	253	232	1,449	336	6,113	248
11	44	519	8,741	1,511	257	239	—	—	—	—
12	46	538	9,105	1,486	271	243	1,574	337	6,509	254
13	46	548	9,092	1,485	269	250	—	—	—	—
14	46	555	9,080	1,465	270	256	1,651	355	6,855	281

(注) 医師、歯科医師、看護師及び准看護師、保健師については隔年調査

県医務薬事課